

圖書關係事業概要

昭和二十七年及び二十八年度に於ける主なる事業には、第一に東山御文庫本の調査・リファレンス、第二に書陵部蔵書総目録、桂宮本叢書等の刊行があつた。東山御文庫本の調査・リファレンスに就ては、既に紀要第二号所収の昭和二十六年度彙報に於いて報告したが、その後も毎年秋の曝涼期を利用して、尊蔵図書若干を拝借し、その調査及び複本作成(謄写並にマイクロ撮影)、展示会等によるリファレンスを行つて来た。

書陵部蔵書総目録の刊行については、既に紀要第二号の彙報に報告したが、現在迄に目録上下二巻を完成、引続き昭和二十九年度に於いて索引の刊行を予定してゐる。上巻に収める所は、総記、神祇、宗教、哲学、教育、文学、語学、美術、諸芸の各項八〇〇頁、下巻には、歴史及伝記、地誌及紀行、法律及政治、経済及財政、社会、産業、交通、統計、理学、工学、薬学、医学、獣医学、兵事の諸項を収めて七三七頁である。

次に事業の詳細を年度別に記せば、

一、出版

昭和二十七年度

桂宮本叢書第三卷 私家集三 一冊 一二七〇部(市販二二〇〇部) 養徳社

(内容) B 6版、三〇五頁、平安中期の七歌人の未刊八集を収めた。即ち兼澄集、能因法師集、藤原範永集、經衡集、大納言經信集、帥大納言集、江帥集、覺綱集(昭和二七・三發行 四五〇圓)

桂宮本叢書第十九卷 連歌二 一冊 一二七〇部(市販二二〇〇部) 養徳社

(内容) B 6版、二六二頁、牡丹花宵柏の連歌集「春夢草」(付句發句合集の註釋本)三帖を収める。(昭和二七・三發行 四五〇圓)

昭和二十八年度

桂宮本叢書第十二卷 私家集十二 一冊 一二七〇部(市販二二〇〇部) 養徳社

(内容) B 6版、三七〇頁、叢書第十一卷に引続き三條西實隆の詠草「再昌草」(第十一・廿三)を収める。(昭和二八・二發行 四五〇圓)

桂宮本叢書第四卷 私家集四 一冊 一二七〇部(市販二二〇〇部) 養徳社

(内容) 平安後期の九歌人の集十二部を収めた。即ち中納言俊忠卿集、行尊大僧正集、同異本、基俊集(二部)、桂大納言家集、田多民治集、粟田口別當入道集、五社百首(長秋草)、有房中將集、有房集、成茂宿禰集である。(昭和二八・三發行 四五〇圓)

二、マイクロ・フィルム 書陵部のリファレンス業務の一環として、毎

年東山御文庫本、その他貴重圖書のマイクロフィルム撮影による複本作成を行つてゐるが、二十七、二十八両年度に於ける撮影書目を年次別に列記すれば、

昭和二十七年八月撮影

攝關傳 (東山御文庫本)	江戸初期寫	四冊	二三七コマ
諸家傳 (東山御文庫本)	江戸初期寫	四冊	二六四コマ
公卿補任 (東山御文庫本)	江戸初期寫	二冊	九五コマ
貫首補任 (東山御文庫本)	江戸初期寫	七冊	四〇五コマ
職事補任 (東山御文庫本)	江戸初期寫	四冊	一一一コマ
辨官補任 (東山御文庫本)	江戸初期寫	一〇冊	二八七コマ
歴名土代 (東山御文庫本)	江戸初期寫	二冊	一〇一コマ
長者補任 (東山御文庫本)	江戸初期寫	三冊	四二六コマ
僧綱補任 (東山御文庫本)	江戸初期寫	二冊	五七コマ
伊勢記 (東山御文庫本)	江戸初期寫	一冊	六〇コマ
院廳補任 (東山御文庫本)	室町寫	一軸	八コマ
東宮補任 (東山御文庫本)	江戸初期寫	一冊	四六コマ
公卿傳目錄上 (東山御文庫本)	豊元天皇 宸筆等	一冊	八三コマ
計 二、一八〇コマ			
親長本源氏物語 (高松官本)	長享二年寫	五四帖	二、四一〇コマ
昭和二十七年十月撮影			
光明院宸記 (東山御文庫本)	宸筆	二卷	五一コマ

躬恒集 (書陵部本)	室町期寫	一冊	三五コマ
素性集 (書陵部本)	江戸初期寫	三八冊ノ内	一三コマ
忠岑集 (書陵部本)	江戸初期寫	一冊	三九コマ
中納言兼輔集 (書陵部本)	江戸寫	一冊	一八コマ
計 一五六コマ			

昭和二十八年十月撮影

迎陽記 (東山御文庫本)	江戸初期寫	一三冊	四九一コマ
業平集 (東山御文庫本)	江戸初期寫	二冊	二八コマ
續本朝文粹 ^{卷一十四} (東山御文庫本)	江戸初期寫	七冊	四四二コマ
御傳國御記 (東山御文庫本)	江戸初期寫	一冊	四三コマ
經俊卿記 (東山御文庫本)	江戸初期寫	一七冊	四二二コマ
元服部類記 (東山御文庫本)	江戸初期寫	一冊	五一コマ
しのひね物語 (東山御文庫本)	江戸初期寫	二冊	八六コマ
後京極攝政百番歌合 (東山御文庫本)	慶安二年寫	一冊	六三コマ
うたゝね (東山御文庫本)	江戸初期寫	一冊	二六コマ
神祇伯傳 (東山御文庫本)	江戸初期寫	一冊	二三コマ
部類記 (東山御文庫本)	江戸初期寫	一冊	五コマ
日本書紀神代卷 (東山御文庫本)	永正七年寫	二冊	一一二コマ
菊の御紋の留 (東山御文庫本)	江戸末期寫	一冊	二五コマ
古諺抄 (東山御文庫本)	江戸初期寫	一冊	一五コマ
下草 (東山御文庫本)	室町中期寫	一冊	一一コマ

表御文庫御目錄（東山御文庫本）	江戸末期寫	七冊	四四二コマ
臨時公事（東山御文庫本）	江戸初期寫	一冊	四六コマ
御花押御寫（東山御文庫本）	櫻町天皇宸筆	一冊	八コマ
禁裏御藏書目錄（東山御文庫本）	江戸初期寫	一冊	一六四コマ
侍從補任（東山御文庫本）	近衛家久筆	一冊	二〇コマ
案抄 定家本 臨寫 （東山御文庫本）	奥書聖護院道 晃法親王御筆	一帖	七八コマ
御紋章（東山御文庫本）	江戸初期寫	三七點	八三コマ
御印譜並印文御書留（東山御文庫本）	孝明天皇宸筆	五通	一〇コマ
御讓位記（東山御文庫本）	鎌倉寫	一卷	五コマ
讓位部類記（東山御文庫本）	鎌倉寫	一卷	一九コマ
相國拜賀類記（東山御文庫本）	鎌倉寫	一卷	九コマ
相國拜賀類記（東山御文庫本）	鎌倉寫	一卷	・七コマ
荒曆（東山御文庫本） 外題「後成恩 寺關白記」	室町末期寫	一卷	四コマ
江家次第（東山御文庫本） 外題「行 類抄」	鎌倉寫	一卷	二二コマ
水黃記（東山御文庫本）	鎌倉寫	一卷	二九コマ
後伏見院宸翰御詠歌二百首（東山御文庫本）	宸筆	二卷	二六コマ
中右記拔書（東山御文庫本）	鎌倉寫	一通	三コマ
菊の御紋の留（東山御文庫本）	江戸末期寫	二冊	三四コマ
後柏原後奈良天皇宸記（東山御文庫本）	宸筆	七通	八コマ

後奈良天皇宸記トアル五通ノ内三通ハ正親町天皇宸記ナリ

大内裏圖（東山御文庫本）	室町寫 江戸初期寫	二鋪	九コマ
清涼殿圖（東山御文庫本）	中御門天皇宸筆	一卷	二コマ
東三條亭圖（東山御文庫本）	江戸初期寫	一鋪	五コマ
閑院内裏圖（東山御文庫本）	江戸初期寫	一鋪	五コマ
土御門内裏圖（東山御文庫本）	江戸初期寫	一鋪	五コマ
仙洞御所指圖（東山御文庫本）	江戸初期寫	一鋪	三コマ

計 三、〇四五コマ

三、展示会 恒例の展示としては、東山御文庫本展示会を毎秋行ひ、昭和二十七年に於ては十月、昭和二十八年に於ては九月に開催した。その展示書目は、前掲マイクロフィルム撮影東山御文庫本には同じくするので省略する。その他、学会、各研究団体等の要求により、適宜所望主題の小展示会を、昭和二十七・二十八年度に於ても、夫々数回開催し、研究の資を供してゐる。

なほ、昭和二十七年度に於ては、皇太子殿下の成年式・立太子礼の佳節を記念し、同年十月、之に因む史料展示会を開催した。それは立太子及び元服の古制に関する史料として東山御文庫本を始め、東京国立博物館本・当部所蔵本を主とし、併せて皇室御物の冠、袍、調度類等を展示した。